

【報告】「令和3年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興功労者表彰」について

日時 令和4年(2022年) 2月17日(木)
場所 滋賀県公館 (大津市京町四丁目2-15)

氏名・名称	主な功績・取組内容
滋賀バルブ協同組合 (代表者:濱口浩一)	滋賀バルブ協同組合の「新素材ビワライトの研究開発と新たな販路開拓の取組」による功績です。関西大学、県東北部工業技術センターとの産官学連携により、平成16年に鉛フリー銅合金の開発に成功しました。特許も取得し、アメリカのメーカーとライセンス契約も果たしています。また、平成29年からは彦根市の水道メーター用の素材としてビワライトが採用されています。これらの取組によって、 <u>彦根バルブ産地</u> における多様な主体との連携、新商品開発、新たな販路開拓等に貢献されております。
伝承工芸愛知川 びん細工手まり保存会 (代表者:東 早苗)	伝承工芸びん細工手まり保存会の「県指定伝統的工芸品「愛知川びん細工手まり」の担い手人材確保、後継者育成および伝統的な技法の継承」による功績です。びん細工手まりは、縁起物として慶事の引出物等にされており、平成11年には意匠登録されています。また、後継者の裾野拡大のために「初心者講習」、「夏休みびん手まり教室」、会員対象の「レベルアップ教室」等を開催されています。これらの取組によって、 <u>愛知川びん細工の手まり</u> の担い手人材の確保、後継者育成、技術等の伝承に貢献されています。